

どの子どもも学びやすい授業づくりのあり方（算数科）大更スタイル

(1) 基本的な指導過程の工夫

| | | |
|------|------------|---|
| 見通し | 視覚化 | 視覚教材で意欲を図る。ひきつける |
| | 焦点化 | 指導過程（流れ）のカードを貼り，授業のゴールを示す。 |
| | | ねらい，活動を絞り込む。 |
| | 共有化 | 既習事項との比較 困ったときは習った形に直す |
| | | 前時の振り返りを利用する。 |
| 学び合い | 視覚化 | 考える材料を提示 |
| | 焦点化 | 考えるポイントを明確にし，方向付ける。 |
| | 共有化 | 思考過程をそろえる。 「〇〇さんの言っていることわかる？」 共有したい考え：モデル発信 結び付ける 「〇〇さんの言っていることを繰り返して言ってみよう。」 「〇〇さんの言っていることをペアに説明してみよう。」 「〇〇さんの言っていることが他にないか考えてみよう。」 ペア，グループ学習 グループでの役割を与え，その中で発言させていく。 |
| 振り返り | 視覚化 共有化 | 「わかった」ことを共有化，視覚化することで「できた」へ |
| | 焦点化 | 次の時間への意欲と結び付ける。 |
| | | 単元を見通した振り返りをする。 |

(2) 授業を支えるもの

| | | |
|-----|----------------|-------------|
| 焦点化 | 指導過程を意識する。 | |
| 視覚化 | 板書作り：構造化 | 思考の整理ができる |
| | 指示・注意事項を板書に残す。 | |
| | 拡大図の活用 | 既習事項掲示コーナーへ |
| 共有化 | レディネステストの実施 | 基本事項の定着 |
| | 掲示コーナー | 既習事項の確認 |
| ノート | ノートの基本形 | 個に配慮したノート作り |